

学校法人樟蔭学園

(大阪樟蔭女子大学／大学院、樟蔭中学校・高等学校、大阪樟蔭女子大学附属幼稚園) 大阪府東大阪市

[贈呈理由] 環境に配慮したヒートポンプ導入により省エネ・省コストを実現



樟蔭学園

樟蔭学園は、樟蔭高等女学校の創設（1917年）以来、現在、大阪樟蔭女子大学をはじめとして、高等学校、中学校、幼稚園を運営している。建学の精神「高い知性と豊かな情操を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成」の下、質の高い理想的な女子教育を志した創立者の精神を継承し、社会で輝く女性を育成する学園として、女子教育のさらなる発展に貢献している。

創立100周年に向けて 大規模なリニューアルを実施

同学園は、2017年に創立100周年という大きな節目を迎える。100周年という記念すべき新しいスタート地点に向けて、大規模な「小阪キャンパスリニューアル事業」を実施した。10階建ての「翔空館」、学生サポート機能を集約したフロアを持つ「学生サポート会館 清志館」、ステージ機能を持つ「体育館（100年会館）」などの新校舎の建設、既存校舎の建物耐震化、

施設設備一新など、安全で快適な「学び」の保証に取り組んだ。

新しく建てられた3つの校舎では最新の施設・設備を整えるとともに、従来閑屋キャンパスにあった児童学部、心理学部を小阪キャンパスに統合し、学芸学部（国文学科、国際英語学科、心理学科、ライフプランニング学科、被服学科）、児童学部（児童学科）、健康栄養学部（健康栄養学科）の3学部7学科体制に生まれ変わり、これまで分散していたリソースをひとつのキャンパスへ集中させることによって、これまで以上に充実した学生サポート体制と質の高い教育環境を目指す。

快適な教育環境を実現するため 高効率電動ヒートポンプを採用

従来から、樟蔭学園は常に時代に対応した先端設備を導入しており、今回も3つの新校舎の空調設備を検討するにあたり、「省エネ性」、「環境性」、「人にやさしい」点を配慮し、最新式の高効率電動ヒートポンプ（ビルマル・個別）を導入し、さらに既

設空調設備と制御連携することにより学園全体の空調設備1,244台（室内機）を一元監視、制御を可能とした。今回の採用により、ランニングコストの削減、省CO₂となり、快適な教育環境を実現した。

今回のリニューアル事業によって、樟蔭学園のさらなる質の高い女子教育に貢献することが期待されている。

学校法人樟蔭学園（大阪樟蔭女子大学／大学院、樟蔭中学校・高等学校、大阪樟蔭女子大学附属幼稚園）

所在地：大阪府東大阪市菱屋西4-2-26
建築設計：（株）熊谷組
建築施工：（株）熊谷組
延床面積：51,122㎡（大阪樟蔭女子大学）、
15,932㎡（樟蔭中学校・高等学校）、
1,166㎡（大阪樟蔭女子大学附属幼稚園）
竣工：2014年9月（大阪樟蔭女子大学／新設）

■蓄熱設備概要

エコ・アイスmini 5馬力相当×2台【三菱電機】
蓄熱槽：0.7㎡
業務用エコキュート 6 kW×4台【三菱電機】
貯湯槽：0.46㎡×4台
家庭用ヒートポンプ給湯機 6 kW×2台【パナソニック】 貯湯槽：0.46㎡
電気温水器 68×28台【TOTO】
電気温水器 128×5台【TOTO】